

写真で紹介する事業の進捗状況



令和4年10月撮影

旧学校給食センター(津田沼3丁目)は建物が解体、除却されました。跡地には菊田第二保育所を移転し、民間へ移管する取り組みが進められています。新たな保育所は令和6年度開設の予定です。



令和4年10月撮影

鷺沼西跨線橋は補修工事のために令和2年9月から約2年間通行止めになっていましたが、本年9月1日から通行が再開いたしました。

経 歴

昭和40年5月 習志野市津田沼生まれ 57歳 家族(妻と一男一女)
津田沼小学校卒業、第5中学校卒業、千葉日大一高卒業
慶応義塾大学法学部政治学科卒業
生命保険会社勤務(6年間)
衆議院議員秘書(1年間)
平成11年4月 習志野市議会議員初当選(無所属 4期連続当選)
平成25年5月 第27代習志野市議会議長に選出
平成31年4月 習志野市議会議員初当選(無所属 現在5期目)
所属党派 真政会
委員会 文教福祉常任委員会

皆様のお声をお寄せ下さい。

事務所
〒275-0015
習志野市鷺沼台2-2-5
Tel 047-471-6290
Fax 047-471-5888
メール knsaitom@yahoo.co.jp

市政レポート

市民一人一人が主役です！

新たな時代を拓く



近年市政の様々な取り組みにおいてICT(情報通信技術)の活用が進んでいます。今回はICTを活用した取り組みを2つご紹介いたします。

はじめに学校教育の取り組みについてです。市内小中学校では、児童・生徒1人1台のタブレット端末が配布され、授業で使用されています。

もう一つはWeb版防災ハザードマップです。Web版防災ハザードマップによって様々な情報をパソコンやスマートフォンで確認することができます。

私はこれら2つの取り組みについて議会の場で度々一般質問してまいりました。これらは災害対策強化という面や、子どもたちに切れ目のない学びの場を提供するという点で、とても大切なものと考えております。

習志野市議会議員 齊藤けんじ



熊本城にて撮影(令和4年7月)

GIGAスクール構想が令和元年12月に当時の萩生田文部科学大臣より発表され、小中学校の児童・生徒1人1台端末の導入と高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備が全国の自治体で進められ、ICT機器を活用した授業が実施されています。

私たちの習志野市でもタブレット端末を活用した授業が実施されています。タブレット端末をノートや鉛筆同様に「新たな文具」ととらえ、学校や家庭で活用して子どもたちの「考える力」、「学ぶ力」を育む取り組みをしています。

私が所属する文教福祉常任委員会では、令和4年度の視察先として熊本市を訪問して学校ICTの取り組みについて学びました。

熊本市では平成28年4月に発生した熊本地震を機にGIGAスクール構想に先立って学校へのICT機器導入を進めてきました。視察の中で、実際にタブレット端末を活用して情報のやり取りを体験しました。

視察終了の後に熊本城を訪ねました。熊本地震は平成28年4月14日と4月16日にかけて、28時間の間に二度の震度7を記録する大規模なものでした。

天守閣は昨年3月に復旧工事が完了していますが、天守閣以外の建造物や石垣の復旧は2038年度までかかるとのことでした。

熊本地震は活断層による「内陸型地震」とされ、甚大な被害をもたらしました。いまだ復旧されていない建造物や崩れたままになった石垣を目のあたりにして、自然災害の脅威を実感する機会にもなりました。

～新たな取り組み～



タブレット端末を用いた自宅学習

タブレット端末により、リモートで双方向に通信ができるようになり、新型コロナウイルス感染症による自宅待機期間中でも先生の指導を受けながら学習することができるようになりました。

習志野市Web版防災ハザードマップ

災害から選ぶ

ご確認されたい災害をお選びください



東日本大震災から10年以上経過する中で、近年震度5以上の大きな地震が多発し、台風や大雨などの風水害も激甚化しています。

災害対策を強化する手段として、令和3年3月よりWeb版防災ハザードマップが習志野市ホームページ上に公開されています。